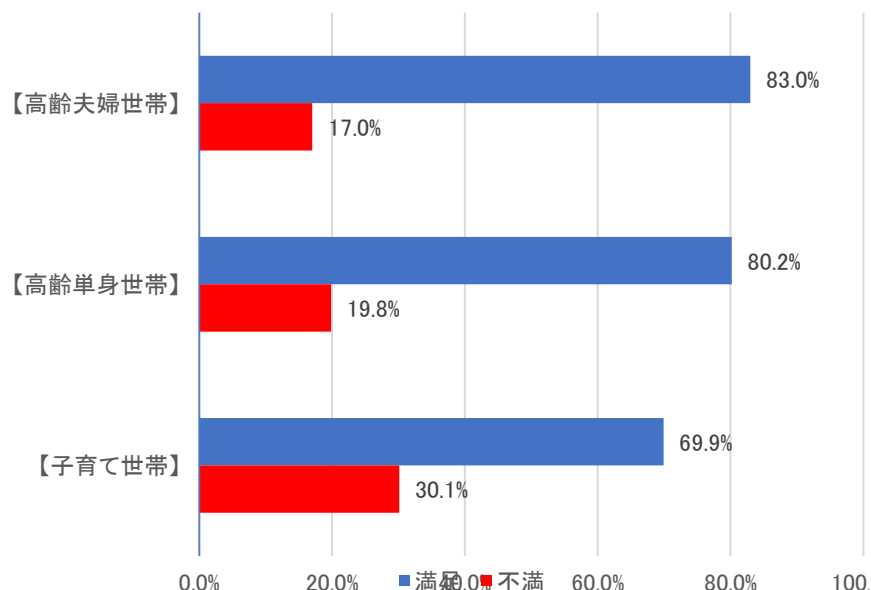


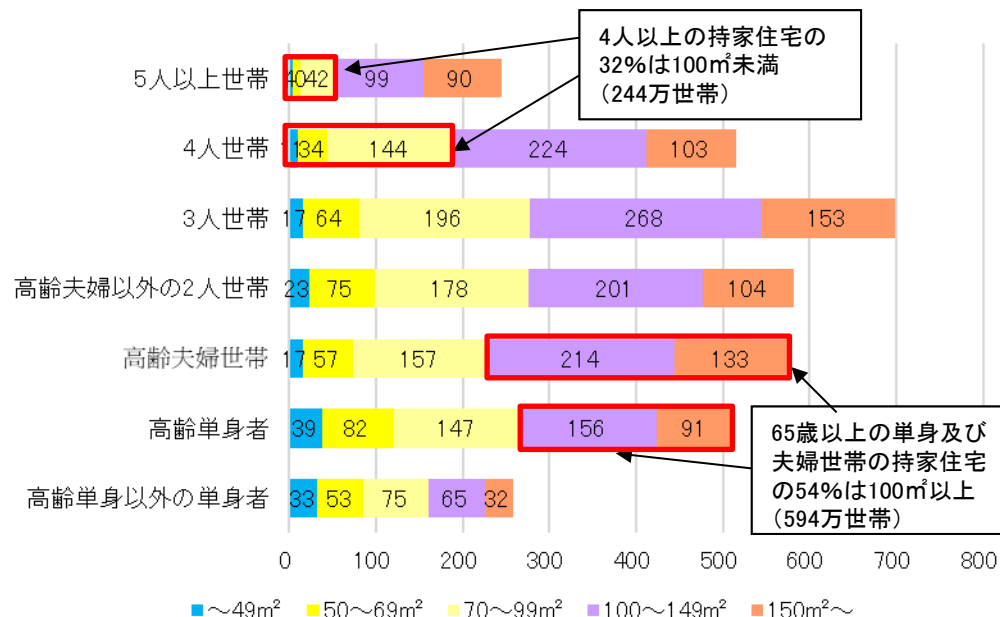
# (8)住宅ストックと居住ニーズのミスマッチ

- 「住宅の広さや間取り」に対する不満は高齢世帯に比べ、子育て世帯において大きい。
- 高齢単身・夫婦の持家世帯で100㎡以上の住宅に住んでいる割合は約54%である一方、4人以上世帯の持家世帯が100㎡未満の住宅に住んでいる割合は約32%である。

【住宅の広さや間取りに対する評価】



【世帯累計別床面積の構造】



※「高齢夫婦世帯」は夫65歳以上、妻60歳以上の夫婦のみの世帯、「高齢単身世帯」は65歳以上の単身世帯。

出典：国土交通省「令和5年住生活総合調査」

※「高齢夫婦世帯」は65歳以上の夫婦のみの世帯、「高齢単身世帯」は65歳以上の単身世帯、「子育て世帯」は長子が18歳未満の親と子の世帯。  
 ※満足は、「満足している」と「まあ満足している」の合計。不満は、「多少不満がある」と「非常に不満がある」の合計。

出典：総務省「2023(令和5)年住宅・土地統計調査」をもとに国土交通省推計